

議会だより みなかみ

令和5年
2023年
7月15日発行
75号
群馬県利根郡みなかみ町

宿場通りを彩る 匠のくるま



特集

小中学校の統合

6月定例議会

小中学校の統合	2
本会議審議内容及び結果	4
臨時議会（4月）	5
一般質問	7
まちの匠	15



バックナンバー
が見られます。





小中学校の統合

町の児童生徒数は年々減少傾向にあります。学校は少人数のよさを生かしたり、不足を補う努力をしたり、教育活動の充実に努めています。しかし、課題も見られます。例えば中学校では「部活動の縮小」「学習、体育や学校行事等の集団活動の制限」「固定化してしまう人間関係」などです。このような状況を改善するため、児童生徒が適正な規模で教育を受けられるようにと統合は進められてきました。

議会から一言

平成29年に「みなかみ町公立学校の適正規模・適正配置について答申」が教育長から町長へ提出され、町は答申に添って統合を進めてきました。令和4年4月に「みなかみ中学校」が開校しましたが、議会は、新たな環境が生徒にとってより良いものか実態を把握し、生徒の目線に立った改善ができるよう努めていきます。

現在は、月夜野地区の小学校統合事業が進められています。議会は令和4年に理想の教育環境について提言したとおり、町の教育基本方針「郷土みなかみを愛し、思いやりを持って、たくましく生きる児童・生徒の育成」を実現する環境となるよう、事業の進捗に注視してまいります。

校歌について

みなかみ中学校の校歌は、多胡邦夫氏が生徒へのエールを込めて作詞作曲しました。いざ行こう、世界に羽ばたく子の背中を後押ししたいとの思いが込められています。

旧中学校の校歌は歌詞もメロディーも心が穏やかになりませんか。思い出し口ずさめるよう、歌詞を卒業生の思い出とともに掲載します。

- 平成20年 新巻小学校、須川小学校、猿ヶ京小学校を統合。
- 平成23年 幸知小学校、水上小学校を統合。新治小学校開校。
- 令和4年 月夜野中学校、水上中学校、藤原中学校、新治中学校を統合。
- 令和5年 月夜野地区3つの小学校を統合するための条例改正を議決。



みなかみ中学校校歌 校章

月夜野中学校校歌

作詞 鈴木比呂志／作曲 江口 浩司

一 若草よ 春まだ浅い 大峰山の みどり萌えたつ 若草のように のぞみ あふれて この窓に 真理 ひとすじ 学ぶ日々 ふるさと ふるさと 月夜野の 夢も明るい 中学生

二 若鳥よ 秋 深みゆく 赤谷川 岸べ飛び交う 若鳥のように いのち すがしく この庭に ころも 磨いて 励む日々 ふるさと ふるさと 月夜野の 光あふれる 中学生

三 若人よ 雲めぐりゆく 新世紀 いとみずしく 若人われら 明日の 世界に 夢馳せて まこと ひとすじ 進む日々 ふるさと ふるさと 月夜野の ゆくて栄えある 中学生



◆卒業生の一言◆
森山龍一さん・亜弓さん（月夜野）
校歌は中学校生活の一部。同級生が集まれば「憶えているか」と話すほど、身近で懐かしいです。

水上中学校校歌

作詞 村野 四郎
作曲 山本 直忠

一 白雲わたる大空に 岳はそびえて幾星霜 おおらかにおおらかに 常にすがしく ゆるぎなき理想のしるし 日々にあおぎここに集う ああうるわしき心の学舎 僕達の 僕達の水上中学校

二 いでゆの岸に咲く花の 影をうつして行く水は 清らかな清らかな利根の水 上 つきるなき希望の流れ ともにくみてここに学ぶ ああうるわしき心の故郷 私達の 水の上中学校

藤原中学校校歌

作詞 鈴木比呂志／作曲 長洲 忠彦

一 山毛櫨の茂みや から松の 芽吹きやわらな 奥利根を さざめきめぐる 溪川よ ああ ふるさとの ふるさとの美しさ ここに生いたち 学びゆく われら 藤原中学生 若き眸の 濁りなく 映す白樺 藤原の 湖水の彩は深みどり ああ ふるさとの ふるさとの美しさ 学びの窓に 睦みあう われら 藤原中学生 三 こころ素直に ひとすじに そそぐ雄々しき 滝のごと のぞみ果てなき 若鳥よ ああ ふるさとの ふるさとの美しさ 三年 はるあき 励みゆく われら 藤原中学生

新治中学校校歌

作詞 鈴木比呂志／作曲 服部 良一

一 母のやさしい眼のような 星を写した赤谷湖よ ささやきめぐる谷川の 歌が聞こえる我が校舎 明るく清く いきいきと 学ぶ新治中学生

二 丘の若草樹のみどり 白い校舎に映えている 雨にも負けぬ草のよに 強く心に根を張ろう 明るく清く いきいきと 学ぶ新治中学生

三 父の背中によく似てる 三国の山のなつかしさ 恩師よ友よ村人よ 変わらぬ愛のふるさとよ 明るく清く いきいきと 学ぶ新治中学生

旧中学校の校歌

◆卒業生の一言◆
桑原勝利さん（下牧）
山と水と光、水上の全てが表現されています。唄えば人と自然を愛する人になれるんだよ。ありがとう、水中。



◆卒業生の一言◆
前原大和さん・由紀さん（藤原）
「湖水の彩は深みどり」藤原を連想させ大好き。藤原の彩は、古今変わらぬのだなと感慨深いです。



◆卒業生の一言◆
大坪幸雄さん（新巻）
校歌で始まる賑やかな運動会の思い出。お祭り大好きな私のルート曲だ。



(四、五略)

6月12日から20日までの会期で6月定例議会を開いた。報告6件、諮問2件、契約4件、条例1件、補正予算3件を審議した。一般質問は7人であった(7～14頁)。

委員長・議長は採決に加わりません

件名	請願人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第2号 上毛高原駅名の早期変更を求める請願書	みなかみ町阿能川147 阿能川区長 久保 秀雄 他 20名	総務文教厚生常任委員会 賛成多数 採択すべきもの 3:2 (欠席1)	賛成多数 採択 9:3 (欠席1)

【反対】鈴木美香議員
上毛新聞のアンケートで6割が「変えなくてよい」と答えている。「どちらでもよい」「今でなくてよい」と考える町民の声を誰が代弁するのか。費用負担、周辺開発など課題解決の道筋がたてられていない状況で、現在町が関係機関と粛々と動いている中、さらなる協議再開を求め、実情の町民意識を反映しているとは言い切れない駅名変更を求めている本請願は不採択とすべき。

【賛成】小林 洋議員
「上越新幹線駅名に関する請願」が令和2年12月に全会一致で採択された後、町はJR東日本への要望等を行った。すでに動いていると認識している。駅名と地域名が合致する必要性は高く、早期に取り組むべき。駅名が変更されることによりブランド力が向上し、産業活性化の一助に



【反対】星野宗央議員
駅名はすでに40年経過し、十分に周知されている。町単独での変更には無理がある。「上毛高原駅」の名称になじみもあり、これを変更することについては反対する。

なる。また町民の郷土愛の育成に大きく寄与してくれることを期待する。将来に希望を持たせ、持続可能なまちづくりのために、駅名変更にも努めることは重要である。

補正 総額 152億597万円
補正額 2億4075万円 (端数処理あり)

歳出	歳入
水紀行館管理運営事業…………… 1650万円	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金… 1795万円
ネイチャーポジティブ推進事業…………… 4200万円	地方創生応援税制寄附金…………… 6000万円
水道事業会計繰出事業…………… 7400万円	ふるさと応援基金繰入金…………… 1億 1299万円
その他…………… 1億 825万円	その他…………… 4981万円

6月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
報告	第5号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	/
第6号 令和4年度旧水上中学校プール建設工事請負変更契約の専決処分報告		
第7号 令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告		
第8号 令和4年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告		
第9号 令和4年度水道事業会計予算繰越計算書の報告		
第10号 土地開発公社の経営状況の報告		
諮問	第1～2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任との意見
議案	第38号 消防ポンプ自動車購入契約の締結	全会一致可決
第39号 社会資本整備総合交付金事業町道鹿野沢大穴線除雪機械格納庫新築工事の建設工事請負契約の締結		
第40号 水上小学校旧校舍他解体工事請負契約の締結		
第41号 水上小学校屋上防水改修工事請負契約の締結		
第42号 税条例の一部を改正する条例		
第43号 一般会計補正予算(第2号)		
第44号 下水道事業特別会計補正予算(第1号)		
第45号 水道事業会計補正予算(第1号)		

補正 総額 149億6522万円
補正額 6億3522万円 (端数処理あり)

歳出	歳入
エネルギー・食料品等価格高騰生活支援給付金事業…………… 7395万円	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金…………… 1億 5076万円
電子地域通貨運営・活用事業…………… 5億 4585万円	電子地域通貨チャージ収入…………… 4億 5000万円
その他…………… 1542万円	その他…………… 3446万円

4月臨時議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
報告	第3号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	/
第4号 令和4年度みなかみ中学校体育館屋根・外壁改修工事請負変更契約の専決処分報告		
承認	第1号 税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致承認
第2号 都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告		
第3号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告		
第4号 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告		
議案	第34号 固定資産評価員の選任	全会一致可決
第35号 社会資本整備総合交付金事業ロータリ除雪車(2.2m級)購入契約の締結		
第36号 介護保険条例の一部を改正する条例		
第37号 一般会計補正予算(第1号)		

4月臨時議会 あらまし

4月27日に臨時議会が開催された。報告2件、承認4件、人事1件、契約1件、条例1件、補正1件を審議した。

活動報告

4月19日 勉強会
本庁舎会議室

水上温泉活性化のポイント

今後の温泉街活性化を図る上でのポイントとして、「かわまちづくり事業」に関わり、数々の温泉街の活性化に携わる堀繁氏をお招きし、勉強会を開催しました。

魅力ある温泉地には何が必要か。人が歩きたくなる温泉街をどう創るか。そして、滞留拠点の重要性など様々な内容について学びました。委員会等で今後の議論に活かしていければと思います。

※注1 現在、水紀行館に隣接する川辺の清流公園を活用し、道の駅と一体感のある景観とする「かわまちづくり事業」が進行中です。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

4月19日 管内視察
奥利根アメニティパーク

可燃ごみピットを一部改造した中継設備整備の工事が完了したので、現地視察を行いました。



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。
執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

5月25日 管内視察
新巻、下津地区他

低温・降霜による農作物等の被害発生概況と現状

4月10日・25日の低温・降霜による農作物等の被害について現地視察を行いました。

りんご、おうとう、西洋なし等の果樹作物を中心に、被害面積約70haと報告され、被害額はおよそ3億3600万円と試算されています。



委員会では状況把握の徹底と、被害に対する支援策の要望の働きかけなどについて話し合いを行うと共に、現地視察で生産者の方の声を聞かせていただきました。

活動報告

6月30日 新議員研修会
群馬県市町村会館

地方議会の制度と運営について

新たに就任した議員を対象にした研修会へ参加しました。



活動報告

6月22日 台湾 台南市

交流10周年記念

議長と産業観光生活環境常任委員会委員長が台南市から招待され、市内の農場で開催された「2023台南国際マンゴーフェスティバル」の開幕式に参加しました。



台南市長から贈られた花

事前通告一覧

- 阿部 清** あべ きよし
 - ①谷川岳周辺登山道に山岳トイレ設置を
 - ②高齢者世帯の防犯対策
- 高橋 視朗** たかはし しろう
 - ①(仮称)月夜野統合小学校について
 - ②上越新幹線駅名及び周辺開発
- 江口 樹** えぐち たつき
 - ①鳥獣害の現状と今後の対策
 - ②ICTを活用した新たな鳥獣害対策
 - ③鳥獣害対策の広域化に向けて
 - ④さらなる鳥獣害対策
- 茂木 法志** もぎ のりゆき
 - ①アフターコロナを見据えた今後の観光振興戦略は
- 石坂 欣也** いしがき きんや
 - ①道路愛護(地域整備)
 - ②町における財政力指数
- 星野 宗央** ほしの かずひさ
 - ①返済不要の奨学金制度
 - ②後閑駅利用者の安全対策など
- 牧田 直己** まきた なおき
 - ①行財政改革推進における取り組み
 - ②町内中小企業の事業継承に係る町の取り組み



阿部 清 議員

山岳トイレの必要性は

町長 前向きに検討

問 山岳トイレ設置に関する質問は、以前に2名の議員が行っているが進展がない。熊穴沢避難小屋付近への山岳トイレの必要性は。

答 町長 天神尾根コースは、谷川岳ロープウェイから3時間足らずで登頂できるコースであり、トイレは出発地となる谷川岳ロープウェイと山頂の肩ノ小屋にあることか

ら問題ないと考えるが、必要性というのには十分認識している。

問 谷川岳周辺の登山道にトイレが無いことで、登山者の屋外での排泄で水質や植物への影響が懸念され、周辺環境の保全が求められる。山岳トイレ技術は一般的なし尿処理と異なり、洗浄水やし尿処理水を放出しないことが特徴で、今後は水を使わない

非水洗型の山岳トイレが主流になると思うが。

答 町長 木質バイオトイレや全てのものを含め、どのような方法が適しているのか総合的に調査研究を進めていきたい。

谷川岳登山指導センターによると、登山届提出者は19,795人。
(令和4年2月～11月)

問 谷川岳馬蹄形縦走コースは、谷川連峰東面の主稜線をつなぐ歩行距離25キロ、約16時間のロングコースである。このコースについても現状や登山者の状況を調査し、トイレの必要性を検討すべきと思うが。

答 町長 登山に関する広い範囲で有識者の意見を聴取し、前向きに検討していきたい。

高齢者世帯の防犯対策

問 当町の高齢化率は県内でも高く、今後も高齢者の占める割合は一層高くなるのが想定される。高齢者世帯は詐欺や泥棒に狙われやすく、物やお金だけではなく命まで取られたケースもある。現在行っている高齢者世帯の防犯対策は。

答 町長 高齢者だけでいいのか、どういう方々を対象にしたらいいのか、安心安全な日常を町民に送っていただくためにも必要性は十分認識しており、前向きに検討する。



高橋 視朗 議員

(月夜野地区) 学童保育は

町長 併設、隣接地への設置が望ましい

問 説明会で(仮称)月夜野統合小学校の敷地は2万㎡以上必要とされていたが確保状況は。

答 教育長 基本設計は進行中。土地売買契約等は8月～10月頃に締結予定。敷地面積は基本設計、用地測量、補償算定調査により最終的に確定する。

方々の理解を得ながら県に要望していきたい。欄干は準備委員会で協議していきたい。

問 駐車場30数台分では狭いのでは。

答 教育長 60台程度駐車できるように考えている。

問 通学路及び周辺の安全確保。歩道に被さる雑木の整備や利根川にかかる歩道橋の欄干が低いこと、月夜野地内のガードレール設置について道路管理者と協議は。

答 教育長 河川の樹木は沼田土木事務所に伐採を依頼し、ガードレール設置も同事務所と協議し、地域の

上越新幹線駅名及び

周辺開発について

問 地域名でない駅名は在来線を含め数駅しかないように、「みなかみ」を含めた地域名の入った駅名に改名する署名運動を商工会が中心になり行った。令和4年9月14日までに合計1万4145名に署名してもらった。9月15日に前町長、前商工会長、観光協会長等がJR高崎支社を訪問し、改名を依頼している。その後、JR高崎支社との協議は進んでいるのか。

答 町長 進んでいるかといえば、進んでいない。

問 多くの町民が観光振興・農業振興に役立つと希望し

答 町長 駅周辺の開発は必要だと思っている。行政だけでなく民間事業者と進めることが必要と認識している。

問 令和4年2月、上毛高原駅を核としたまちづくり構想策定委員会が町長に答申した。進捗状況は。

答 町長 令和4年2月、上毛高原駅を核としたまちづくり構想策定委員会が町長に答申した。進捗状況は。



石坂 欣也 議員

道路愛護は高齢者が多い

町長 町民に広く協力いただきたい

問 道路愛護の作業は高齢者が多く、若者が少ない。現状での作業について、議論はされているのか。

答 町長 生活道路で地域の差はあるが、やはり大切な道路として、町民の皆様方に広くご協力いただきたい。美しく安全な道路のために

道普請、美化等にご協力いただければと思っている。できるだけ範囲で道路愛護にご協力いただき、安心安全な道路環境にご尽力いただければと考えている。

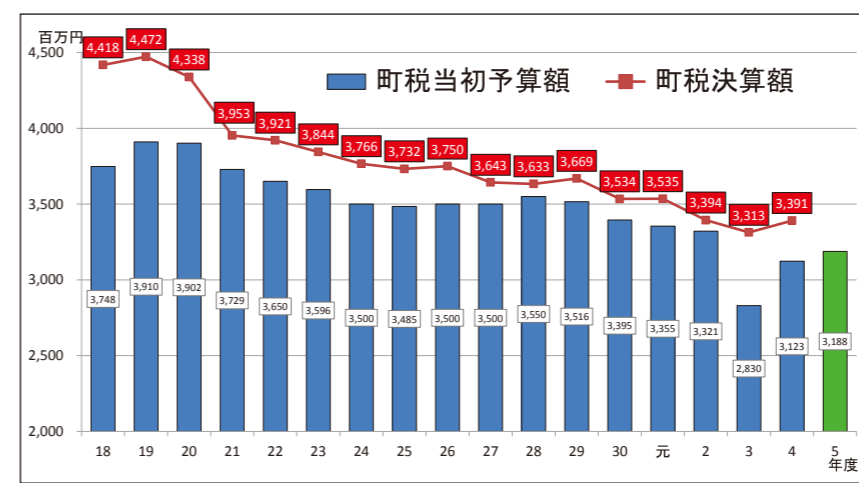
問 年齢によってできる作業も限られており、高齢化が進む中で、人数もだんだん少なくなっている現状がある。どうしても手に負えないような場所、危険な作業の対応は。

答 町長 基本的には、道路脇の田んぼ、法面等については、所有者が責任を持ち管理する。

財政力指数について

問 町における財政力指数の現状、将来的数値目標は。

答 町長 令和4年度町財政力指数が0・40、県内35市町村中27位。まずは慢性的な財源不足による財政調整基金の継続的な取り崩しを改善していかなければならないと考えている。そのためには、行政コストの効率化に加え、自主財源の確保などが大変重要になってきていると思う。



これらの歳入歳出両面から行財政改革のアプローチをかけることで、低下傾向にある財政力指数の向上につなげていきたい。

町税の推移



下石倉区の春の道路愛護



星野 宗央 議員

返済不要の奨学金制度は

町長 現在は考えていない

問 現在、町の制度はどのようなものになっているのか。

答 教育長 町奨学金貸与条例により奨学金を貸与している。貸与条件は、①品行方正、身体健康、学業優秀、志操堅実なる者。②本町に3年以上居住する者、またはその子女。③高等学校、大学またはこれと同程度の学校に在学中の者。④資力なく、修学困難な者。貸与額は月額2万円まで。卒業または貸与を中止した月の1年後から貸与期間の2倍の期間内に月賦または年賦により返済しなければならない。

問 利用の実績は。

答 教育長 平成17年度以降、37名の方が奨学金制度を利用している。貸与中の方が4名、返還中の方が12名、返還が完了している方が20名、1名の方については令和6年度から返還を開始。

問 給付型の奨学金制度を導入し、町にとっての担い手への支援をすることについては。

答 町長 返済不要の奨学金導入は現在では考えていない。

後閑駅の利用者の安全対策

問 無人化されたことについて、どのような対応を。

答 町長 無人化解消の働きかけはやってきた。有人化の継続をお願いしたにもかかわらず、残念ながら平成30年4月20日より無人化となってしまう。

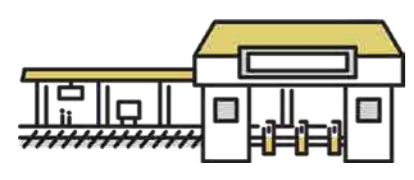
問 高齢の方や身体障害者の方の利用などについて、取り組みは。

答 町長 令和4年7月に駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドラインが策定されている。安全・円滑な駅として利用する

ようにJRに求めていくことしかないのかと思う。

問 窓口業務の必要性、安全対策も町にとって取り組みが必要ではないのか。

答 町長 安全対策は大切なこと。ただ、駅内についてはJR東日本の管理の部分だと思う。安心・安全な駅構内外ということで、外も含めて、玄関口なので、対策は必要に応じて取ることにはあってもよいのかと思っています。





牧田 直己 議員

町民1人あたりの公共施設は

町長 沼田市に比べ保有数と経費は2.4倍

問 町長は公共施設等の維持経費の削減を、将来の責任としてやらなければいけないと述べている。過去に町はどんな取り組みをしてきたのか。

答 町長 町公共施設の統廃合等検討委員会を設置し、平成19年度から約1年間、施設の存続等について検討。189施設について協議をした。

問 その委員会は機能してきたか。また現状は。

答 町長 進まなかった。今後、当該委員会の答申を踏まえ、議論が進んでいない施設等を含み見直していく。

問 進めるなら町民に寄り添った対応が必要だ。町長の考える町民へ寄り添った対応とは。

答 町長 誠意を持って説明し、理解を得ながら進めていきたい。誰かがどこかでやらなければならぬ。

問 町の財政状況は良くないからこそ、収入を増やす努力はより一層必要である。ふるさと納税への方策は。

答 町長 リピーターを増やすことは重要。町外在住の当町出身者、友好都市の方々等へ、みなかみファンクラブ入会案内、ふるさと納税事業の案内を行い、きっかけづくりも進める。

問 大切な事は寄付をくださった方へのお礼だと思うが、現状は。

答 総務課長 寄付者に対して寄付の受領書を出している。

問 寄付者は当町のビジョンや目指す姿に魅力を感じて寄付する。町長はこの全国の方にどんな言葉をかけて寄付をお願いするか。

答 町長 当町の最大の魅力はユネスコエコパークの豊かな自然と人が共生する持続可能なまちづくり。守る、生かす、広める力を備えた人を育む取り組みに注目していただきたい。

中小企業の事業継承

問 町内の経営者の高齢化が進む一方で、親族内後継者不足を理由に廃業を選択する事業者が増えてきているが今後の取り組みは。

答 町長 全国的な社会問題と認識している。商工会と連携しアンケート調査を行い、現状を把握することが最優先。

問 こちらから出向く事業者訪問型ヒアリングの検討は。

答 町長 どういう方法がこの地域に合っているのか含め検討する。



まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識や技能、技術を持つ方々のことです。みなかみ町の匠を紹介します。



真庭祥市 さん (77歳) Maniwa Youichi

匠ナンバー 2
こえ 盆栽の聲をきく匠
盆栽愛好家



石のコレクション「梅花」



養生している松



— 生まれたところ 育ったところ 旧月夜野町 —
— どんな匠なの —
祖父の代から三代にわたり盆栽を愛好しています。植木場では推定樹齢が二百年を超える赤松や祖父から受け継ぐ錦木にしきぎなどが私を待っています。盆栽があったからこそ三度の大病も乗り越えることができました。
友人から弱った木を預かっています。具合が悪くなると私のところに預けるんです。土を替えたり（土は企業秘密）置く場所を変えたり養生してやりますと、まあ、元気になってくれます。盆栽の聲に耳を澄ませば、どうしてほしいか聞こえます。
— 匠になった経過は —
生まれたときから祖父の盆栽があり、最初から盆栽のそばにいました。祖父を見て育ちました。
— 盆栽の楽しさをみなさんへ —
自然を身近に置くことかな。

「朝食後はすぐに植木場へ行ってしまう。とにかく好きなんです。盆栽さえあれば、この人は「二〇二〇」なんです。」
そう語るのは妻の房子さん。盆栽を素晴らしいと思ったことはもちろんですが、お二人になんとも癒やされました。

よせられた感想

60代

①3月定例会では3名の事前通告による一般質問がありました。事前通告なしの質疑があれば掲載してほしいです。
 ②予算連合審査会では一般会計歳入の質疑が1件のみでした。
 (湯原)

【議会より】
 ①当議会の一般質問には、事前通告のない質問はありません。一般質問は行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。質問する議員も、受ける町長、執行機関も充分な準備が必要で、そのために通告制が採用されています。町の会議規則には「要旨を文書で通告しなければならぬ」とあります。
 ②議会だよりには質疑の一部を掲載しています。連合審査会は4時間を越えて行われましたので全容の掲載はできませんが、誌面の許す範囲で掲載していきたいと考えます。

【お詫びと訂正】

本誌、令和5年4月15日 第74号の掲載記事に誤りがありました。
 ■13ページ「まちの匠」
 本文32行目 (正) 2012年 (誤) 2021年
 ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びし、ここに訂正させていただきます。



オオチャバネセセリ (撮影場所：羽場)

編集後記

流行り病も終息に向かいつつある中、今回は6月議会を中心にまちの匠、盆栽愛好家の真庭祥市さん特集させていただきました。悠久の時を感じ、ひとつづくり、まちづくりに大きなヒントを得た取材でした。感謝申し上げます。
 今後も皆さまに役立つ情報を発信してまいりますので、議会だよりへのご協力をよろしくお願いいたします。
 (石坂欣也)



議会だより編集特別委員会

- 委員長…鈴木 美香
- 副委員長…星野 宗央
- 委員…江口 樹
- 石坂 欣也
- 阿部 清
- 編集アドバイザー 利根川太郎
- 編集モニター 利根商業高等学校生徒

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

……流れ……

- ①受付にて「受付表記入(住所・電話番号・氏名・年齢)」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

今回の定例会は

9月 5日(火) ~
 9月15日(金)の予定
 場所：役場本庁舎3階議場
 時間：開会は9時
 席数：34席
 【問合せ先】議会事務局
 ☎25 - 5023

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
 ★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。



クイズ

現在、みなかみ町に中学校は何校ありますか？

- A 1校
- B 2校
- C 3校

前回の議会だより74号ふるさとクイズの正解は『◎肩ノ小屋』でした。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。
 ※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
 みなかみ議会だより「クイズ・感想」係
 締切：2023年8月31日(当日消印有効)
 ※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

3791390

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だより
「クイズ・感想」係



記入欄は裏面にあります



キビタキ (撮影場所：羽場)

感想

皆さんの
感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇒ _____

○差出人住所 ⇒ 〒 _____

(ふりがな)
○差出人氏名 ⇒ _____○年代 ⇒ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を
付けてください) ・40代 ・50代 ・60代
・70代 ・80代～

○議会だよりの感想

谷-折-り-線

のりしろ

のりしろ

のりしろ